

国民健康保険・後期高齢者医療制度の保健事業等から見た健康課題について

令和5年度の瑞浪市国民健康保険（以下「国保」という）、後期高齢者医療制度（以下「後期」という）における医療、健診、介護認定の状況について、KDB（国保データベース）システム（※）による分析データを活用し、現状をまとめました。

（※）国民健康保険中央会が開発した、医療・健診・介護の情報を活用したデータ分析システム

1、医療費の状況について

令和5年度については、国保費用額は24億5,993万円であり、前年度比5,090万円の減額となりましたが、その主な要因は、被保険者数の減少（前年度比279人減）であると考えられます。一方、一人あたり医療費は38.8万円、前年度比0.9万円増となりました。また、後期費用額は49億4,037万円であり、前年度比3億2,485万円の増額となりました。一人あたり医療費は76.2万円、前年度比3.2万円増となり、国保被保険者の約2倍となっています。（表1）

生活習慣病の治療者の状況については、国保、後期ともに、高血圧、脂質異常症の治療者の割合が特に高く、約5割から5割超となっています。（表2）

生活習慣病に係る医療費について、国保、後期ともに割合が高いのは、慢性腎不全（透析有）であり、県平均と比較しても高い状況にあります。（表3）

（表1）

	国保		後期	
対象年度	R4	R5	R4	R5
被保険者数	6,627人	6,348人	6,322人	6,487人
費用額	25億1,083万円	24億5,993万円	46億1,552万円	49億4,037万円
一人あたり医療費	37.9万円	38.8万円	73.0万円	76.2万円

（表2）

生活習慣病の治療者数構成割合（対象レセプト：R5年5月診療分）

*「全体」以外の各治療者数＝延べ人数

		全体	脳血管疾患	虚血性心疾患	糖尿病性腎症	高血圧症	糖尿病	脂質異常症
国保	人数	2,793人	221人	290人	42人	1,586人	984人	1,359人
	割合	—	7.9%	10.4%	1.5%	56.8%	35.2%	48.7%
後期	人数	4,741人	838人	940人	89人	3,484人	1,815人	2,521人
	割合	—	17.7%	19.8%	1.9%	73.5%	38.3%	53.2%

（表3）

令和5年度		総医療費	腎		脳	心	高血圧症	糖尿病	脂質異常症
			慢性腎不全 （透析有）	慢性腎不全 （透析無）	脳梗塞 脳出血	狭心症 心筋梗塞			
国保	瑞浪市	24億5,993万円	5.39%	0.34%	1.65%	1.43%	3.39%	5.44%	2.31%
	県	—	4.30%	0.33%	1.90%	1.76%	3.08%	5.75%	2.20%
後期	瑞浪市	49億4,037万円	4.89%	0.57%	4.20%	1.50%	3.68%	3.91%	1.99%
	県	—	3.97%	0.46%	3.59%	2.20%	3.17%	4.73%	1.57%

2、特定健康診査、ぎふ・すこやか健康診査の状況について

令和5年度の国保の「特定健康診査（以下「特定健診」という）」の受診率は38.0%、後期の「ぎふ・すこやか健康診査（以下「すこやか健診」という）」の受診率は19.6%でした。国保・後期とも、前年度よりわずかに上昇しましたが、県平均受診率に到達していません。（表4）

(表4)

令和5年度	受診率								県内 順位等
国保 特定健診	合計	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	順位 31位
	38.0%	26.3%	24.1%	25.5%	29.4%	35.6%	41.8%	42.3%	県平均 40.5%
後期 すこやか健診	合計	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85歳以上	—	—	順位 28位
	19.6%	0.0%	10.0%	26.2%	21.5%	12.3%	—	—	県平均 24.4%

国保：R5年度 特定健診法定報告値、後期：R6/4/1 国保連合会作成データ値、順位：岐阜県内市町村各受診率の降順

3、介護の状況について

令和5年度の瑞浪市民の介護認定率は15.8%で、前年度比0.2ポイント上昇しました。県平均と比較すると、2.5ポイント低くなっています。一方、一人あたり給付費は、前年度比2,163円減となりましたが、県平均より2,561円高い状況です。(表5)

介護保険認定者の内、国保・後期加入者の有病状況は、心臓病、高血圧症の割合が高くなっています。県平均と比較すると、どの疾病も、割合が低い状況です。(表6)

(表5)

年度	R4				R5			
介護保険 項目	認定率	一人あたり 給付費	内 居宅 サービス	内 施設 サービス	認定率	一人あたり 給付費	内 居宅 サービス	内 施設 サービス
瑞浪市	15.6%	63,765円	43,587円	278,146円	15.8%	61,602円	43,148円	278,953円
県	18.1%	59,511円	41,518円	284,664円	18.3%	59,041円	41,554円	286,633円

(表6)

令和5年度 介護保険認定者 の有病状況	糖尿病	高血圧症	脂質 異常症	心臓病	脳疾患	がん	筋骨格	精神
瑞浪市	26.6%	52.6%	31.9%	61.1%	20.0%	9.6%	49.6%	34.7%
県	29.2%	57.4%	34.8%	66.2%	21.5%	11.5%	57.0%	37.9%

4、まとめ

令和5年度の国保・後期の医療データからは、生活習慣病の中では、高血圧症、脂質異常症の被保険者が多く、特に慢性腎不全（透析有）の医療費が大きいこと、また要介護認定者の有病状況からは、心臓病、高血圧症の割合が高いことが明確であり、引き続き、これらの疾病に係る重症化予防が重要です。

国保においては、「糖尿病性腎症・慢性腎臓病（CKD）重症化予防」、「その他の生活習慣病重症化予防事業（高血圧症、脂質異常症等）」による生活習慣病の発症予防・重症化予防の取り組みや、疾病の予防・早期発見・早期治療のため、健診の受診率アップに向けた取り組みを、引き続き実施します。また、後期移行後も継続的な支援が必要であるため、後期においても同様の取り組みを「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業」として実施します。

高齢化の進展が見込まれる中、医療保険者の視点によるデータ分析結果等を、医療・介護の関係機関等の皆様と共有し、健康寿命の延伸や高齢者のQOL（※）の維持向上につなげて参ります。

（※）Quality Of Life＝生活の質